



## 災害時連絡手段 (家族への連絡方法)

### NTT災害用伝言ダイヤルサービス

災害用伝言サービスは地震などの大災害発生時に、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される伝言板サービスです。

伝言の録音

伝言の再生



「171」にダイヤルする

「1」を押す

「2」を押す

被災地の人は自宅や携帯電話などの電話番号を入力する

伝言を聞きたい被災地の人の電話番号を入力する

「1」を押す

「録音」する(30秒以内)

「再生」が始まる

### 携帯各社の伝言サービス

(事前登録が必要です)

大災害時に携帯電話から安否確認(安否情報の登録)ができる災害用伝言サービスです。

#### 各社のQRコード

##### NTTドコモ

<http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>



##### au

<http://dengon.ezweb.ne.jp/>



##### ソフトバンク/Y!モバイル

<http://dengon.softbank.ne.jp/>



## 災害対応マニュアル

建物の損壊や交通機関に大きな被害が与えられるような地震(震度5強程度以上が目安)が発生した場合は、本マニュアルを参考にして、身の安全を守り落ちついて行動してください。



### 普段からの心構え

適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。

- 避難路・避難場所の確認
- 自宅(家族)との連絡方法の確認
- 災害用伝言サービスの確認と登録
- 学校および友人等への連絡方法の確認

本災害マニュアルはホームページで閲覧できます。  
[https://www.kokushikan.ac.jp/campus\\_life/life\\_support/earthquake.html](https://www.kokushikan.ac.jp/campus_life/life_support/earthquake.html)



学校法人 国士館

必携

# 災害

## 対応マニュアル



国士館大学大学院  
国士館大学  
国士館高等学校  
国士館中学校



## 自然災害等に対する 全学的休講措置 (大学生対応)

### 休講措置について

#### 1. 自然災害等による措置

(1) 気象庁から東京23区西部及び多摩南部に大雨警報、暴風警報、大雪警報、暴風雪警報のいずれかが発令された場合は、次のとおり休講とする。

- ① 午前6時までに解除された場合  
⇒ 終日平常どおり授業を行う。
- ② 午前6時までに解除されなかった場合  
⇒ 1・2時限目の授業を休講とする。
- ③ 午前9時までに解除された場合  
⇒ 3時限目以降の授業は、平常どおり行う。
- ④ 午前9時までに解除されなかった場合  
⇒ 終日休講とする。
- ⑤ 1時限目の授業開始後に警報が発令された場合  
⇒ 大学として休講等措置に関して決定された事項を周知する。

#### 2. 交通機関の不通による措置

ストライキおよび天災、事故等により小田原線全線、京王線全線、東急線(世田谷線及び田園都市線)のいずれかが30分以上継続して全面不通の場合は、次の通りとする。

- ① 午前6時までに復旧した場合  
⇒ 終日平常どおり授業を行う。
- ② 午前6時までに復旧しない場合  
⇒ 1・2時限目の授業を休講とする。
- ③ 午前9時までに復旧した場合  
⇒ 3時限目以降の授業は、平常どおり行う。
- ④ 午前9時までに復旧しない場合  
⇒ 終日休講とする。

#### 休講等の措置に関する周知について

休講等の措置を講じる場合は、学生情報サイト及び大学ホームページにより周知する。



## 学校への連絡方法

(落ちついたら学校へ連絡する)

### 安否確認方法について

#### 1. セコム安否確認サービスによる報告

ログインページ(事前登録が必要です)  
<https://www.e-kakushin.com/login/>



#### 2. ホームページからの報告

[https://www.kokushikan.ac.jp/campus\\_life/life\\_support/earthquake.html](https://www.kokushikan.ac.jp/campus_life/life_support/earthquake.html)



#### 3. 電話による報告

\* 電話での報告は極力控える  
電話番号(各学部・高校・中学)  
所属先 TEL (        -        -        )

## 本人情報

学校種別  大学院  大学  高校  中学

氏名

学部(課程)

学科(組)

学籍番号

緊急連絡先

住所

電話番号

持病・アレルギー・服用薬

# 災害発生からの行動



## 地震発生から避難まで



地震発生

地震発生直後

揺れがおさまったら



### 学校にいるとき

- 窓や棚、ガラスなど割れたり中のものが飛び出しそうなものから離れる。
- 机の下にもぐるか、バッグ・衣類等で身を守る。
- 揺れがおさまったら、慌てず火の始末をし、ドアを開け、出口を確保する。

- 「火災は起きていないか?」「負傷者はいないか?」状況を把握する。
- 教職員や非常放送の指示に従って落ちついて避難場所へ移動する。その際は「押さない、走らない、しゃべらない、戻らない」を守り避難する。(エレベーターは使わない)
- 安全が確保されるまで学校にとどまる。
- 学校には3日分の食料が備蓄してあります。

### 各キャンパス避難場所

世田谷キャンパス避難場所

グラウンド・梅ヶ丘校舎西側空地

町田キャンパス避難場所

野球場

多摩キャンパス避難場所

ラグビー・アメリカンフットボール場



### 通学中

- 周辺の状況に注意し、身の安全の確保を最優先する。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物に注意する。
- 電車・バス内では、つり革・手すりにしっかりつかまり、車外に投げ出されないようにする。

- 交通機関等からの情報を収集し、車掌や誘導員の指示に従い、落ちついて行動する。
- 自然災害等に対する全学的休講措置により、登下校する。



### 津波が発生したら

#### 警報発生から避難

海岸・河川近くにいるときに、強い揺れを感じたり、津波警報等を見聞きした場合は、すぐその場から離れ、より高い場所に避難し、解除されるまで絶対に戻らない。

また、「津波避難場所」「津波避難ビル」のマークを目印に直ちに避難する。



津波避難場所  
TSUNAMI SHELTER



津波避難ビル  
TSUNAMI ESCAPE BUILDING

#### 津波が襲来

津波は、川などの低いところを目指して押し寄せるので、川の近くにいるときは流れに対し直角方向に素早く、遠くが見渡せる、より高い安全な場所に避難する。



### 弾道ミサイル発射に係る対応

- 弾道ミサイルは、発射から極めて短時間で着弾します。
- ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国が国民に対しJアラートを活用して防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

### 全国瞬時警報システム (Jアラート) 発信時

#### 始業前

登校前は**自宅待機**する。

#### 登下校中

近くの建物内に避難し、終息後、登下校する。  
建物が無い場合は、物陰に身を隠すか地面に身を伏せ、耳を塞ぎ頭部を守り、終息後、登下校する。

#### 在校中

**各校舎、各施設内にいる場合**  
できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する。  
**グラウンド等の屋外にいる場合**  
近くの建物、地下などに避難する。建物が無い場合は物陰に身を隠すか地面に伏せ、耳を塞ぎ頭部を守る。

#### 休校・学園閉鎖

基本は、**学校長の判断**とするが、**緊急総合安全会議を開催し決定**する。

～落ちついて行動してください～